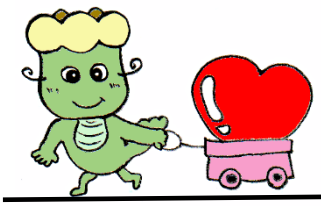
令和４年度事業報告書



社会福祉法人　竜王町社会福祉協議会

【総括報告】

令和４年度は、新型コロナウイルス感染症もやや落ち着きを見せ、３月からは、マスクの着用も個人の判断となるなど感染対策も新たなステージとなりました。

一方、社会状況は少子・高齢化、人口減少の進行への対応など竜王町においても例外ではなく、その対応を迫られる年でもありました。

このような状況のなかで社会福祉協議会では、新たな地域福祉推進の目標となる「竜王町地域福祉計画・地域福祉活動計画」を行政と協働して策定しました。

この計画策定の過程で見えてきた、血縁、地縁の希薄化という課題を補う新たなつながりづくりとして、３つの新たな取り組みを行いました。

まず、１つ目はフードドライブ事業を開始し、食を通して必要な人につながる機会を設けました。地域住民をはじめ、エコライフ推進協議会、自立支援ルームに参加している若者、行政の相談員等、様々な人の協力を得て取り組みました。この事業は、地域福祉活動計画のめざす「共生のまち」の実現に向けた取り組みとなりました。

２つ目には、災害ボランティアセンターをはじめとする災害時の取り組みについて、生活安全課や有識者等の協力を得て学ぶ機会を設け、日常の見守り支えあいが防災の取り組みにも通じていることを社会福祉大会や「地域の防災力パワーアップセミナー」を通して住民と共有しました。

３つ目に福祉分野に関与している自治会の役員同士が課題やビジョンを共有する機会を設けました。また、当協議会が委嘱している各地区の福祉委員同士が情報の共有や意見交換できるようタブレットの貸し出しを行いました。

令和４年度から職員 １ 名の正規職員化や本会職員の福祉課への派遣など職員体制に大きな変化がありました。

また、計画策定に合わせて、地域福祉に造詣の深い学識経験者から助言をいただき、取り組みに反映することを心掛けました。新たな価値観にふれ、ネットワークづくりに取り組んだ１年でした。

この報告書において、令和４年度の活動を振り返り、成果や課題を明らかにし、令和５年度につなげていきたいと思います。

【事業実施報告】

Ⅰ．法人組織・事務局機能の強化

民間の社会福祉法人として、次の会議を開催し、透明性のある法人運営に努めました。

■法人運営機能の充実

（１）理事会

開催日	議事内容
令和４年 ６月　６日	①令和３年度社会福祉法人竜王町社会福祉協議会事業報告の承認について ②令和３年度社会福祉法人竜王町社会福祉協議会会計決算の承認について ③令和４年度社会福祉法人竜王町社会福祉協議会会計補正予算の承認について ④社会福祉法人竜王町社会福祉協議会職員給与規程の一部改正について ⑤社会福祉法人竜王町社会福祉協議会理事（補欠）候補者の推薦について ⑥社会福祉法人竜王町社会福祉協議会評議員（補欠）選任候補者の推薦について ⑦令和４年度定時評議員会の日程および内容について
９月２１日	①社会福祉法人竜王町社会福祉協議会職員給与規程の一部改正について ②社会福祉法人竜王町社会福祉協議会職員の育児・介護休業等に関する規程の一部改正について
１１月１６日	議案なし（協議事項のみ） ①地域福祉活動計画について ②来年度重点取組（予算要望内容）について ③社協一般会費・赤い羽根共同募金等依頼事項の見直しについて ④窓口ワンストップ化に伴う社協事務所の移転について
令和５年 １月２６日	①専決処分の承認を求めることについて （社会福祉法人竜王町社会福祉協議会職員給与規程の一部を改正する規程） ②専決処分の承認を求めることについて （社会福祉法人竜王町社会福祉協議会労務職員の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する規程の一部を改正する規程）
３月１６日	①令和４年度社会福祉法人竜王町社会福祉協議会社会福祉事業会計補正予算について ②竜王町地域福祉活動計画の承認について ③令和５年度社会福祉法人竜王町社会福祉協議会事業計画について ④令和５年度竜王町社会福祉協議会社会福祉事業会計予算について ⑤社会福祉法人竜王町社会福祉協議会事務局長の解任について ⑥社会福祉法人竜王町社会福祉協議会事務局長代行の選任について

	⑦役員等賠償責任保険の加入およびこれに伴う保険料負担について ⑧令和４年度第２回社会福祉法人竜王町社会福祉協議会評議員会の日程、場所および議題の承認について

（２）評議員会

開催日	議事内容
令和４年 ６月２３日	①令和３年度社会福祉法人竜王町社会福祉協議会事業報告の承認について ②令和３年度社会福祉法人竜王町社会福祉協議会協議会会計決算の承認について ③令和４年度社会福祉法人竜王町社会福祉協議会補正予算の承認について ④社会福祉法人竜王町社会福祉協議会理事（補欠）の承認について
令和５年 ３月２９日	①令和４年度社会福祉法人竜王町社会福祉協議会社会福祉事業会計補正予算について ②竜王町地域福祉活動計画の承認について ③令和５年度社会福祉法人竜王町社会福祉協議会事業計画について ④令和５年度社会福祉法人竜王町社会福祉協議会社会福祉事業会計予算について

（３）監事会

開催日	内容
令和４年 ５月２６日	令和３年度社会福祉協議会事業執行状況および会計の監査

（４）評議員選任・解任委員会

開催日	内容
令和４年 ６月　８日	社会福祉法人竜王町社会福祉協議会評議員（補欠）の選任について

（５）会長・副会長等三役会議

開催日	内容
令和４年 ６月　３日	①令和４年度社会福祉法人竜王町社会福祉協議会補正予算について ②社会福祉法人竜王町社会福祉協議会職員給与規程の一部改正について

	③社会福祉法人竜王町社会福祉協議会理事(補欠)候補者の推薦について ④社会福祉法人竜王町社会福祉協議会評議員（補欠）選任候補者の推薦について ⑤令和４年度定時評議員会の日程および内容について
９月１５日	①社会福祉法人竜王町社会福祉協議会職員給与規程の一部改正について ②社会福祉法人竜王町社会福祉協議会職員の育児・介護休業等に関する規程の一部改正について
令和５年 ２月１６日	①令和５年度職員体制について ②自治会の負担軽減に対する社協の対応について

（６）部門間調整会議

進捗会議等、他の会議の中で業務上課題となる事項について協議を行いました。

（７）財務・労務管理

税理士および社会保険労務士と委託契約を締結し、指導、助言を受け、適正な財務執行に努めました。

■部会・委員会機能の充実、強化

（１）法人運営部会

三役会議、進捗会議や理事会において対応したため実施していません。

（２）地域福祉推進部会

開催日	内容
令和４年 ７月１３日	①令和３年度ブロック別懇談会の報告について ②第３期地域福祉活動計画の評価について
１０月３１日	①第４期地域福祉活動計画の策定について ②令和４年度ブロック別懇談会について

（３）在宅福祉事業部会

令和４年度は実施していません。

（４）広報部会

開催日	内容
令和４年 ４月　６日	福祉りゅうおう NO.136 号（５月発行）について検討
７月　８日	福祉りゅうおう NO.137 号（８月発行）について検討
１０月　７日	福祉りゅうおう NO.138 号（11 月発行）について検討
令和５年 １月　６日	福祉りゅうおう NO.139 号（２月発行）について検討

■役職員研修会の実施

（１）役員研修

新型コロナウイルス感染症拡大により実施しませんでした。

（２）職員内部研修会の実施

開催日	内容
令和５年 ３月２０日	人権研修

（３）局内会議の実施

開催頻度	会議名称
２週に１回	進捗会議（部門間連携を行い、情報共有と進捗状況の把握）
月２回程度	地域シェア会議（地域福祉事業の運営協議）
毎月１回	ヘルパー会議（訪問介護事業の運営協議）
毎月１回	こどもひろばスタッフ会議（こどもひろばの運営協議）
毎月１回	生涯現役事業内部会議
毎月１回	地域福祉権利擁護事業内部会議

（４）研修会への参加

６月　２日 ６月１０日 ９月　５日	滋賀の福祉人研修（新任期）
６月　９日 ６月１４日	生活支援員/新任職員研修会
６月１７日	生活福祉資金　実務研修会
７月　６日 ７月２２日	滋賀の福祉人研修（中堅期）

７月２６日	
９月３０日	町を対象とした重層的支援体制整備事業にかかる勉強会
１０月３１日	コミュニティワーク基礎研修
令和５年 １月２７日	ボランティアコーディネーターセミナー
２月２８日	重層的支援体制整備事業勉強会

２．安定した事業財源の確保

■会員・会費の充実

（１）一般会員の加入促進

自治会の協力のもと、一般会員の募集を行い、事業財源の確保と地域福祉活動の充実を目指しました。

	令和４年度	令和３年度	令和２年度
一般会費（世帯 1,000 円）	1,288,994 円	1,318,365 円	1,292,916 円

（２）賛助会員・特別会員の加入促進

企業、商店、個人の皆様に対し、訪問などにより協力依頼を行いました。

賛助会費、特別会費は一般会費とともに社会福祉協議会の重要な自主財源であるため、安定的な運営を行っていけるよう、賛助会員、特別会員への協力を依頼していきます。

また、使い道を明らかにし、協力が得られるよう努めていきます。

		令和４年度	令和３年度	令和２年度
賛助会員	企業・商店	94 件（221,000 円）	106 件（243,000 円）	51 件（119,000 円）
(2,000 円以上)	個人	33 件（ 85,000 円）	29 件（ 74,000 円）	29 件(85,000 円)
特別会員	企業・商店	32 件（370,000 円）	36 件（515,000 円）	32 件(465,000 円)
(10,000 円以上)	個人	10 件（110,000 円）	10 件（100,000 円）	8 件(80,000 円)
合　　計		786,000 円	932,000 円	749,000 円

■事業財源の確保

（１）助成金の活用

令和４年度赤い羽根共同募金「災害ボランティアセンター」特別支援事業の助成を受け、災害ボランティアセンターで活用する機器整備を図りました。

〈購入備品等〉発電機・ハンド型メガホン・ビブス

（２）広報広告の活用

例年、広報の広告を募集してきましたが、令和４年度は行いませんでした。

（３）入れ歯リサイクル事業

不要になった入れ歯を町内の歯科・病院などで回収していただき、リサイクル業者に依頼していますが、ある程度まとまった数になった時に業者に依頼するので、令和４年度は依頼していません。

■善意銀行の管理・運営

（１）善意銀行運営委員会

善意銀行は、金品や物品の寄附（預託）を受け、助けを必要とする人や地域福祉活動者の間を取り持つ制度です。

善意銀行運営委員会は、寄附金（物品）の管理と目的に沿った使途および必要時の地域福祉推進活動者への預託金払い出しのための審議を行います。

開催日	内容
令和５年 ２月２８日	経理状況の報告

（２）災害時等の支援に要する費用の管理

災害時に備えた費用の準備と必要時の活用のため、寄附の一部を継続的に預金、管理しています。

３．地域福祉活動計画の進行管理と策定

（１）地域福祉活動計画の進行管理

地域福祉活動計画の進行管理は、地域福祉推進部会で進行管理を行っています。

（２）地域福祉活動計画の策定

令和５年度から令和９年度までを計画期間とする次期地域福祉活動計画を策定しました。

次期地域福祉活動計画の策定にあたっては、行政と協働して「竜王町地域福祉計画・地域福祉活動計画」として策定しました。

〈地域福祉計画・地域福祉活動計画策定委員会の開催〉

開催日	内容
令和４年　７月１９日	・町民向けアンケート調査について ・計画の評価および方向性について
令和４年１０月　３日	・計画の骨子案について ・地域づくりにおける現状と方向性について
令和４年１１月１１日	・計画の素案について
令和４年１２月２６日	・計画の素案について ・パブリックコメントについて
令和５年　２月　７日	・計画の素案について ・次年度以降の進捗管理について

〈町長・社協会長への提言式〉

令和５年　２月２７日	策定委員長から町長・社協会長への提言

４．地域づくり

■小地域福祉活動の推進

（１）小地域支え合いの「近助」体制づくり

社会福祉協議会は、大規模災害時等の避難行動支援などを見据えた、日頃からの近所同士の関係づくりを進める「近助」体制づくりを小地域福祉活動の柱として推進してきました。

令和４年度は、社会福祉大会や「地域の防災力パワーアップセミナー」等を通して、災害時の対策を特別なものとして考えるのではなく、日常とつながった取り組みが重要であることを啓発しました。

また、各福祉委員会の会議等で近助事業についての取り組みの説明を行いました。

（２）福祉委員会活動の支援

LINEworks を活用し、各地区福祉委員会の活動状況や活動助成のお知らせ等を掲載し、情報提供を行いました。

福祉委員会は３１地区に設置されており、その活動に対する支援として福祉委員会への助成を行いました。

福祉委員会活動は各地区の地域福祉活動の基盤となるものなので、令和５年度以降も連携をとって活動の支援を行っていきます。

①地区への助成	２７地区
②LINEworks を活用した情報発信	新規のボランティア団体紹介や各地区の取り組みの紹介などで随時活用

（３）福祉関係三者研修・福祉委員等交流会

毎年、各地区の小地域福祉活動の推進者である自治会長、民生委員児童委員、福祉委員の方々をはじめとする福祉委員構成員が協力して取り組みを進められるよう、三者を対象とした研修会を実施していますが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から福祉委員のみを対象とした研修会を実施しました。研修会では福祉委員経験者にも登壇いただき、これまでの活動や福祉委員として活動されてきた中で感じた想いなどを聞き、福祉委員活動におけるヒントを得ていただく機会になりました。

また、令和４年度より福祉委員にタブレットの貸与を行い、社協からの情報発信や福祉委員間の情報共有ツールとして活用し、連携が密になるよう取り組みました。タブレット活用については、使い方講習会なども併せて行いました。

〈福祉委員研修〉

開催日	内容	参加者
令和４年　５月３１日	福祉委員の役割 事例発表（小口地区の活動）	27 人

〈タブレット使い方説明会〉

開催日	開催場所	参加者
令和４年　７月２５日 （２部に分け開催）	鵜川ふれあいプラザ	３人 ５人
７月２７日	弓削ふれあいプラザ	６人
７月２９日	鏡ふれあいプラザ	４人

他、個別対応１４件

（４）地域福祉ブロック別懇談会

令和４年度は「地域福祉活動計画から身近な地域における見守り活動」をテーマに新型コロナウイルス感染症対策をとり、５回に分散して開催しました。

開催日	参加地区	内容
令和４年 １１月１５日	田中・小口・駕輿丁・島 川上・松が丘・綾戸 新村	グループ懇談 地域福祉活動計画から身近な地域における見守り活動について ①各地区の地域福祉活動について ②グループ内で地域活動の共有 ③社会変化による地域の課題
１１月１７日	川守・岩井・岡屋・庄 信濃・林・西出	
１１月１８日	さくら団地・山中・西山	
１１月２１日	美松台・西川・弓削・鏡 須恵・希望が丘・西横関	
１１月２５日	七里・薬師・東出・鵜川 松陽台・山面・橋本	

（５）居場所づくりの支援

誰でも気軽に立ち寄れ交流ができる地域の居場所づくりとしての取り組みが各地区で実施されました。

新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、中止されているところもありました。

コミュニティカフェ（対象を限定しない集いの場）	17か所
サロン（対象を限定した集いの場）	15か所
おたっしゃ教室	23か所

（6）物品貸出

研修用機材の貸し出し、レク用品、イベント用品の貸し出し

令和4年度	令和3年度	令和2年度
レク用品貸出　31件	レク用品貸出　19件	レク用品貸出　21件
イベント用品貸出　4件 鉄板一式　1件 綿菓子　2件 かき氷機　1件	イベント用品貸出　2件 綿菓子　2件	イベント用品貸出　4件 綿菓子機　2件 ポップコーン機2件
紅白幕　4件（17枚）	紅白幕　3件（16枚）	紅白幕　4件（12枚）

（7）見守り配食事業

ボランティアや町内商店の協力により年5回、季節ごとのお弁当を作っていただき、民生委員児童委員を通じて一人暮らし高齢者の方に配食しています。

また、民生委員児童委員から見守り状況の報告を受け、地域包括支援センターと情報共有を行い、一人暮らし高齢者の支援等について確認しました。コロナ禍において、見守りだけでなく一人暮らし高齢者への情報発信などにも積極的に取り組んでいく必要があります。

実施日	内容	対象者
令和4年 6月18日	・お弁当のお届け（調理協力：ライフショップなかまつ）	81人
9月10日	・100人文通プロジェクト ・お弁当のお届け（調理協力：魚秀）	86人
11月12日	・お弁当のお届け（調理協力：赤十字奉仕団）	85人
令和5年 1月14日	・100人文通プロジェクト ・お弁当のお届け（調理協力：赤十字奉仕団）	87人
3月11日	・いつまでも元気クラブから小物入れのプレゼント ・お弁当のお届け（調理協力：赤十字奉仕団）	82人

■地域関係者や専門職と連携した福祉のネットワークづくり

（１）アウトリーチによる相談支援体制の強化

地域に出向き、地域住民との関係を築き、制度の狭間に陥ったり、支援につながりにくいケースをキャッチするよう取り組みました。職員が町内各地区を分担し、福祉委員会活動や自主活動グループの活動状況の把握とともに担い手との交流や相談支援に努め、地域の個別課題の把握も行い、必要に応じて民生委員児童委員等関係者や機関と連携しました。

令和４年度は、地域福祉コーディネーター１名の正規職員化を行い、体制強化を図りました。

（２）住民主体の活動支援

各地区で取り組まれている住民主体の活動が推進されるよう各地区の取り組みを紹介するとともに活動者の繋がり、連携をとりながら支援を行いました。

身近な地域での福祉活動の重要性が高まっており、支援していきます。

	令和４年度	令和３年度	令和２年度
訪問実績合計	８８件	５４件	４２件
地域福祉活動に関する相談	３５０件	１００件	６２件

〈地域福祉活動に関する相談の内容（３５０件の内訳)〉

相談内容	相談件数	相談内容	相談件数
通いの場の取組	１３０件	子ども食堂	１２件
訪問活動	１９件	近助事業	５件
地域の会議	８件	福祉学習	６１件
研修等	１４件	その他	１０１件

（４）社会福祉法人の公益的取り組みに向けた活動

竜王町内の社会福祉法人（雪野会、やまびこ福祉会、育新会および社会福祉協議会）が公益的取り組みについて協議を行いました。

コロナ禍が続く中で、地域と関わりのある取り組みに影響が大きく出ているとの意見が出されました。

また、情報交換では、需要は高まっているが、人材不足のためサービス提供ができない状況があるとの意見が出されました。このことは、各施設共通の課題であるとのことでした。

開催日	内容
令和４年９月６日	地域福祉活動について 情報交換

５．地域を支える人づくり

■ボランティアセンター機能の充実

（１）センター機能の強化

ボランティアセンターとして、日常的なボランティア相談・登録・斡旋に加え、連絡調整を行いました。

地域での会食やイベントが自粛され、ボランティアの連絡調整数が少ない状況が続いています。

ボランティアグループへの活動の聞き取りを行ったことからその他が増加しました。

相談内容	ボランティア派遣	福祉教育	その他
令和４年度	７件	１６件	３４件
令和３年度	４件	２６件	１７件
令和２年度	１３件	２８件	１７件

（２）ボランティア活動の啓発

事務所前に設置したボランティアコーナー（掲示板）やホームページを活用し、身近なボランティア情報を提供したり、ボランティア保険の加入促進等に努めました。

また、年４回発行の「福祉りゅうおう」に「ボランティア通信」を掲載しました。

	活動保険	行事用保険
令和４年度	７５６人	８件
令和３年度	７７８人	１件
令和２年度	７４６人	１０件

（３）福祉教育の推進

町内の小中学校に対し、福祉体験の指導や講義などで総合学習などにおける支援を行いました。

令和４年度は、中学校において昨年度に引き続き、民生委員児童委員にも協力いただいき授業を実施し、福祉学習の充実を図ることができました。また、小学校でも体験学習を中心に授業を展開しました。

引き続き、地域福祉に視点を置いた福祉学習に取り組んでいきます。

〈竜王小学校〉

実施日	内容
令和４年１０月　４日	視覚障がい者の方の理解・点字体験
１０月　６日	ボッチャ体験
１０月１７日	聴覚障がい者の方の理解・手話体験

１０月２７日	高齢者・認知症の理解
１１月　４日	車いす体験

〈竜王西小学校〉

実施日	内容
令和４年　６月２１日	車椅子体験
７月　８日	視覚障がい者の方の理解・点字体験
９月２６日	聴覚障がい者の方の理解・手話体験
１１月　９日	高齢者・認知症の理解

〈竜王中学校〉

実施日	内容
令和４年１１月２８日	「こんにちは、民生委員です」～地域の課題を知ろう～
令和５年　２月２０日	小地域福祉活動について

（４）プチどら★にこにこプロジェクト

コロナウイルス感染症拡大の影響により高齢者施設の訪問ができませんでした。令和５年度は、幼少期からの福祉体験や高齢者との交流をとおして福祉の心を育む場となることから引き続き実施していきます。

（５）福祉講座・研修会の企画運営

コロナ禍で中止していましたレクリエーション講座とボランティア交流会を開催しました。

実施日	内容	参加者
令和４年６月15日	レクリエーション講座 ～コロナ禍でもできるレクリエーション～	８名
令和５年１月28日	ボランティア交流会 菜の花グループによるコーヒー淹れ方教室と交流	１８名

（６）災害ボランティアセンターの体制づくり

災害ボランティアセンター設置・運営については、竜王町防災計画に基づき、その設置、運営が行われ、平常時から行政と連携、協力して体制を整えていくことが求められます。令和４年度はそのための協定の締結を行いました。

また、災害に関する連続セミナーを開催しました。

開催日	内容	参加者

令和４年 12 月　２日	災害時を知りましょう 竜王町での災害やハザードマップの確認	６名
令和４年 12 月　９日	避難所を運営しましょう 避難所運営ゲーム HUG	８名
令和４年 12 月 15 日	災害とまち、今をくらすために ローカリズム・ラボ　井岡仁志氏の講演	10 名

６．仲間づくり・生きがいづくり

■各種サロン・講座の開催

（１）生涯現役事業「いつまでも元気クラブ」

鏡、弓削、鵜川ふれあいプラザで概ね６０歳以上の方を対象に、介護予防を目的とした生涯現役事業や趣味活動、健康維持、仲間づくり、ボランティア活動など様々な活動を実施しました。

また、参加者を増やす取り組みとして、町内４か所で啓発のためのチラシ配布を行い、新しい参加者につなげることができました。

２か月に１回福祉課と会議を持ち、取り組み状況や方向性について協議を行いながら事業を推進しました。　［詳細はＰ２７・２８］

（２）いきいき趣味活動（高齢者趣味活動）

ふれあいプラザにおいて、書道教室、編物手芸教室を実施しました。

コロナ禍のため、カラオケサロン、健康料理教室の各講座は実施しておりません。

	書道教室	編物手芸教室	合計
令和４年度	鵜川 12 回/ 118 人 岡屋 12 回/　62 人	弓削 13 回/ 57 人 鏡　12 回/ 77 人	４９回／314 人
令和３年度	鵜川 12 回/ 125 人 岡屋 12 回/　85 人	弓削 13 回/ 53 人 鏡　12 回/ 79 人	４９回／342 人
令和２年度	鵜川 12 回/ 147 人 岡屋 12 回/　86 人	弓削 13 回/ 55 人 鏡　12 回/ 95 人	４９回／383 人

（３）こどもひろば

未就園児とその保護者を対象に下記の内容で親子の交流や各講座を通じて子育ての不安等を緩和し、子どもの健やかな育ちを支援しました。

保健センター２階において月曜日から金曜日まで週５回開催しました。

令和４年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、イベント開催の中

止、参加人数の制限や開催時間を短縮しての取り組みとなりました。
　様々なイベントは 10 組～15 組と制限し、密を避けるため鏡ふれあいプラザで行いました。

	開催日数	参加者数
令和４年度	235 日	延べ 6,299 人（保護者 2,943 人　子ども 3,356 人）
令和３年度	192 日	延べ 5,858 人（保護者 2,621 人　子ども 3,237 人） 8/27～9/30　1/31～2/18・2/28～3/4 開催中止
令和２年度	218 日	延べ 3,899 人（保護者 1,791 人　子ども 2,108 人） 4/22～30 開催中止　５月はオンラインひろばを開催

〈活動・支援内容〉

①子育て親子の交流の場の提供と交流の促進
○自然と親しむ事業 花の苗植え　いちご狩り　芋ほり　どんぐり拾い　おさんぽデー ○親のリフレッシュ 子ども服リサイクル　ベルの演奏会 ○遊びの工夫 季節の遊び講座（こどもの日の制作　七夕飾り　水遊び　クリスマス会 お正月遊び　豆まき　ひな祭り会） おたんじょう会・砂あそび・白玉粉粘土あそび・絵具あそび
②子育てに関する相談・支援
○こどもひろば開催時にスタッフによる相談　子育て世代担当者会議
③地域の子育て関連情報の提供
○「こどもひろばだより」の発行 ○各種セミナー等の案内 ○インスタグラム、フェイスブック、ホームページ、ＬＩＮＥの活用
④子育ておよび子育て支援に関する講習等の実施
交通安全のおはなし　応急手当講座　おはなしタイム　産後の身体について知ろう　楽しい子育てのコツ ベビーマッサージ　子育てお悩み相談室　歯のおはなし　ミュージック・ケア　食育講座　トランポビクス　親子ふれあい遊び
⑤地域の子育て力を高める取り組み（異年齢との交流）
お話サークル「トトロ」 民生委員児童委員さんとの交流
⑥子育て講習会の開催
開催なし

〈学年別ひろば〉

例年、鏡ふれあいプラザで０歳児、１歳児、２歳児の親子ふれあい教室を８月を除く５月から１月に開催しています。

令和４年度はコロナ感染防止のため９月開催を中止し、２月に代替開催しました。

	ぴよぴよ（０歳児）	よちよち（１歳児）	わくわく（２歳児）
令和４年度	８回／　215人 保護者　105人 子ども　110人	８回／　206人 保護者　95人 子ども　111人	８回／　170人 保護者　75人 子ども　95人
令和３年度	７回／　206人 保護者　96人 子ども　110人	７回／　178人 保護者　84人 子ども　94人	７回／　157人 保護者　71人 子ども　86人
令和２年度	８回／１７３人 保護者　８３人 子ども　９０人	８回／１７５人 保護者　８４人 子ども　９１人	８回／１６３人 保護者　７４人 子ども　８９人

〈内容〉

友だちづくり　子育てお悩み相談室　歯と口腔の講座　ミュージック・ケア　絵本の講座　食育講座　トランポビクス　フォトフレーム作り　親子ふれあい遊び　運動会ごっこ　お別れ会

■当事者団体への支援

（１）当事者団体支援

視覚障害者友の会、母子福祉のぞみ会への資金助成を行いました。

上記団体が実施する事業等へ協力をしています。

（２）一人暮らし高齢者支援事業

約３年ぶりとなるクリスマス会を12月に実施し、一人暮らしの方々や民生委員児童委員の方々との交流を深めていただくことができました。

７．主体的な活動への支援

■福祉活動団体への支援

（１）福祉団体への支援

自主的に福祉活動を行う老人クラブ連合会をはじめとする福祉団体からの申請に基づき、運営費の一部を助成し、支援を行いました。

町内の小学校、中学校を対象に福祉教育活動に対する助成を行うことで福祉教育の充実に努めました。

８．相談・支援事業の充実

■定期相談の継続・専門相談の充実

（１）心配ごと相談所の開設

①心配ごと相談

住民の身近な相談窓口として、民生委員児童委員、行政相談員、人権擁護委員を相談員として毎月３回心配ごと相談所を開設します。

	令和４年度	令和３年度	令和２年度
相談件数	１３件	１３件	１６件

〈相談内容〉（相談来所数１つにつき、複数内容の相談あり）

相談内容：相続・贈与５件、土地・不動産：２件、離婚２件、親族・家族トラブル：２件、近隣関係：３件、行政：１件、制度相談：１件、近隣関係：４件、損害賠償：１件、契約トラブル：１件、会社継承：１件

〈紹介先〉

行政…８件(総務課、住民課、福祉課、生活安全課、建設計画課、教育委員会…各１件、税務課…２件)、社協…１件、弁護士無料法律相談…４件、法律事務所…１件、司法書士事務所…１件

②弁護士無料相談会

年４回（６月、９月、１２月、３月)、弁護士による無料法律相談会を実施しました。

	令和４年度	令和３年度	令和２年度
相談件数	１２件	１１件	１５件

（6/17：キャンセル待ち２件、12/16：キャンセル待ち１件、3/17：キャンセル待ち１件）

〈相談内容〉（相談来所数１つにつき、複数内容の相談あり）

相続・贈与：10件、土地・不動産関係：１件、離婚問題：３件、親族・家族問題：３件、近隣関係：２件、契約トラブル：１件、会社継承１件、制度相談：４件であった。（キャンセル者の相談も含む）

（２）生活困窮者自立相談支援事業

生活に困窮されている方の自立を促進することを目的として、滋賀県から委託を受け、自立相談支援事業の相談窓口として事業を実施しました。

また、フードドライブを活用した食糧支援を行いながら、相談者の自立に向けた支援を実施しました。

〈相談受付〉

	令和４年度	令和３年度	令和２年度
新規相談件数	８件	１７件	３３件
情報提供や相談対応で終了した件数	８件	２件	３件
他の制度や専門機関へつないだ件数	０件	０件	２件

支援の同意に向けて対応中の件数	０件	０件	０件
総合支援資金特例貸付の対応した件数	０件	15 件	２８件

〈支援計画に基づく支援〉

相談者が抱える課題を把握し、その置かれている状況や本人の意思を確認することを通じ、個人の状態にあった支援計画の作成を行う体制をとりましたが、計画作成には至らず、生活保護の申請をされることが多い状況でした。

本制度での対応が難しい状況になるまで相談ができず、より厳しい状況にいたってから来所される方も多く、住民や関係機関への事業周知を行い、早い段階で潜在化している相談者に繋がっていく必要があります。そのためには、アウトリーチも課題となります。

	令和４年度	令和３年度	令和２年度
支援計画に基づく支援件数	０件	１件	０件
新規支援計画作成件数	０件	１件	０件
支援計画に基づく支援終了件数	０件	１件	０件

（支援終了にあたっては、自立した生活を継続できるよう他制度等による継続支援を実施）

〈支援調整会議への出席〉

ハローワークや就労準備支援事業実施事業所との連携を行いました。

令和５年　４月１８日	・新規相談対応状況 ・相談内容の報告、支援の方向性の検討 ・支援機関の既存の制度や新規制度の情報共有
７月１９日	

（３）社会参加の支援

２カ月１回、ひきこもり支援検討会議に出席し、関係各課や社協が把握するひきこもりの実態や現状について情報共有し、支援連携体制の構築に向けた協議を行いました。

また、社会参加にしづらさのある方が就労や社会体験の場を提供する仕組みづくりを行いました。社会福祉協議会が行っているフードドライブの仕分け作業を新しいボランティア体験の場として展開し、資源の開拓も実施しました。

（４）一時的に食糧がない方への支援

一時的に食べるものがない方に対して、善意銀行からの助成を受けて購入した食料品を活用し食糧支援を実施しました。また、令和４年９月よりフードドライブを試行的に開始し、町民や関係機関・フードバンク滋賀などの協力を得ながら、実施しています。

令和４年度支援世帯：５世帯

■福祉サービスの実施および利用支援

（１）生活福祉資金貸付制度の利用支援

滋賀県社会福祉協議会が実施している生活福祉資金貸付事業の相談窓口として事業を実施しました。「生活福祉資金貸付制度」は低所得者や高齢者、障がい者の生活を経済的に支えるとともに、社会参加等の促進を図ることを目的とした貸付制度です。総合支援資金、福祉資金の相談に来所された方については、それぞれにあった制度につなげました。

貸付に至らなかった主な理由は、給付金と勘違い、貸付対象ではないため別の制度に繋げた等があります。

		令和４年度	令和３年度	令和２年度
総合支援資金	延べ相談	０件	７件	１件
	新規貸付	０件	０件	０件
福祉資金	延べ相談	10件	３件	３件
	新規貸付	０件	０件	０件
教育支援資金	延べ相談	１件	０件	０件
	新規貸付	０件	０件	０件
不動産担保型生活資金	延べ相談	０件	０件	１件
	新規貸付	０件	１件	０件

令和４年度も新型コロナウイルス感染症の影響を受けた方を支援する緊急小口資金、総合支援資金の特例貸付の相談、申請の窓口として対応しました。

また、令和５年１月から特例貸付の償還が開始されたため、令和４年６月から「特例貸付償還手続き」、令和４年１２月から「特例貸付償還猶予に関する手続き」の相談に対応しました。

総合支援資金特例貸付は、生活困窮者自立相談支援事業と連携して対応しました。

貸付相談者は、「派遣職員」「契約職員」が半数以上を占めました。

貸付に至らなかった主な理由は、貸付対象ではない、申請者の生活拠点が県外、給付金と勘違い等があります。

		令和４年度	令和３年度	令和２年度
緊急小口資金特例貸付	延べ相談	１２件	２５件	８８件
	新規貸付	１件	１９件	５８件
総合支援資金特例貸付	延べ相談	６件	１７件	３６件
	新規貸付	６件	１６件	１９件
総合支援資金特例貸付（延長貸付）	延べ相談	－件	７件	－
	新規貸付	－件	７件	－
総合支援資金特例貸付	延べ相談	－件	２１件	－

（再貸付）	新規貸付	－件	１８件	－
特例貸付償還手続き等による相談	延べ相談	１６件	－	－
特例貸付償還猶予に関する相談	延べ相談	１３件	－	－

※緊急小口資金特例貸付、総合支援資金特例貸付は、令和４年９月末で受付終了
※総合支援資金特例貸付（延長貸付）は、令和３年６月末で受付終了。
※総合支援資金特例貸付（再貸付）は、令和３年１２月末で受付終了。

（２）地域福祉権利擁護事業（日常生活自立支援事業）

認知症等高齢者、知的障がい者、精神障がい者で判断面に不安のある方が日常生活を安心して暮らせるよう、福祉サービスや行政手続きを本人と同行または代行して行ったり、日常生活にかかる費用の金銭管理、書類等の預かりを行い、本人の自立を支える支援を行いました。

〈令和４年度の状況〉

	認知症高齢者等	知的障がい者	精神障がい者	その他
相談援助件数	１５０件	４７０件	１７５件	７件
新規契約件数	０件	０件	１件	０件
終了契約件数	１件	０件	０件	０件
現在契約件数	１件	１０件	４件	０件

終了件数内訳：
死亡１人（認知症高齢者１人）

〈年度別支援件数〉

	令和４年度	令和３年度	令和２年度
支援件数	１５件	１６件	１９件

（３）成年後見制度への移行支援

成年後見制度サポートセンターE-SORA や竜王町をはじめとする関係行政機関と連携を図り、地域福祉権利擁護事業利用者で成年後見制度への移行が必要な方について移行の支援を行いました。
令和４年度に移行したケース：無し
権利擁護検討会で相談したケース：１件

９．調査・広報活動の充実

■調査活動

（１）要援護世帯の把握と対応

社会福祉協議会が実施する事業や相談窓口をはじめ、民生委員児童委員、福祉委員等から情報収集を行いました。

重層的支援体制整備事業等を推進するなかで、福祉課や関係機関との情報共有により、支援を必要とする方の把握を行いました。

（２）一人暮らし高齢者・高齢者のみ世帯等の把握

見守り配食事業において、民生委員児童委員が作成したチェックシートにより把握した情報を福祉課と共有しました。

また、歳末たすけあい事業のおせち料理宅配助成を通じた高齢者のみ世帯等の見守りと状況の把握に努めました。

（３）地域のニーズの把握

地域に出向いたなかで地域ニーズの把握に努め、相談支援活動に努めました。

■広報活動

（１）「福祉りゅうおう」の発行

発行月	内容
令和４年 ５月１日	NO.１３６号　社協活動への住民参加の促進と PR に努めました
８月１日	NO.１３７号　〃
１１月１日	NO.１３８号　〃
令和５年 ２月１日	NO.１３９号　〃

（２）こどもひろば便りの発行

こどもひろば便り「どらんちゅ」を毎月１回発行し、事業の近況報告やお知らせなどを行いました。

また、参加者の募集や月間の予定を掲載し、参加者の拡大を図りました。

（３）プラザだよりの発行

鏡・弓削・鵜川ふれあいプラザで実施している「いつまでも元気クラブ」（生涯現役事業）の介護予防事業や「いきいき趣味活動」による仲間づくりなどの

情報を「ふれあいプラザだより」として毎月発行し、高齢者の健康維持や介護予防の活動に参加していただけるよう周知しました。

（４）ホームページや SNS による情報発信

ホームページを活用して、地域福祉活動の啓発を図るとともに、住民が円滑に社協の福祉サービスや地域福祉関連の助成制度を利用できるように情報提供や様式をダウンロードできるようにしました。

インスタグラム、フェイスブックやＬＩＮＥ公式アカウント等のＳＮＳを随時更新し、社協事業やこどもひろばの月間予定の公開・タイムリーな情報や子育て情報等の発信を行いました。

（５）公民館における常設展示

公民館の交竜フロアに常設の展示コーナーを設置し、事業の紹介・参加者の募集・講座の案内などを行いました。

１０．その他

■関係機関との連携・支援

（１）関係機関との連携

福祉課をはじめとする行政関係機関、福祉関係施設・団体と連携し、事業を推進するとともに、諸事業への参加協力や活動費等の支援を行いました。

（２）事務局支援

事務局の運営または運営補助を行いました。

〈社会福祉協議会が事務局業務を行っている団体〉

団体名	事務内容等
竜王町共同募金委員会	詳細は共同募金委員会事業報告等参照
日本赤十字社竜王町分区	活動資金の募集と収納事務 赤十字奉仕団との連携
竜王町遺族会	会務の運営
護国社奉賛会	護国社大祭の執行
竜王町民生委員児童委員協議会	企画委員会・定例会の開催 民児協会計処理 多機関との連携サポート

■その他の事業、啓発活動等の実施

（１）共同募金運動の推進

共同募金委員会事務局として募金活動の推進、配分活動の実施や啓発活動を行いました。

要援護世帯、小地域ふれあい事業、福祉団体への事業助成を行いました。

（２）社会を明るくする運動

社会を明るくする運動、青少年健全育成活動に協力しました。７月の強調月間には、のぼり旗、ポスターの掲示等啓発活動を推進しました。

また、町長へ内閣総理大臣メッセージ伝達を行いました。

（３）平和祈念事業

７月３０日に戦没者の慰霊と恒久平和の実現のため、町および社会福祉協議会主催で第１２回竜王町平和祈念式を開催しました。コロナウイルス感染拡大防止のため、出席人数を制限して開催しました。

（４）社会福祉大会の開催

１１月６日に竜王町公民館ホールにおいて社会福祉大会を開催しました。令和４年度は、コロナウイルス感染対策を行ったうえで、式典および講演会を開催しました。

共同募金コンクールのぬりえ、ポスター、書道については、当日に掲示したほか、１月に公民館交竜フロアで掲示を行いました。

○社会福祉協議会会長表彰・感謝状の贈呈　表彰１４人（団体）　感謝２人（団体）

○竜王町共同募金委員会会長賞状の贈呈　ぬりえ・ポスター・川柳・書道コンクール

ぬりえの部（４歳児・５歳児）　　ポスターの部（小学生）

書道の部（小学生）　　川柳の部（中学生・一般の部）　　各最優秀賞

優秀賞

○滋賀県共同募金委員会会長表彰・感謝状の伝達表彰　表彰２個人（団体）　感謝２団体

◇講演：「人口減少、災害多発時代の地域づくり」

講師：ローカリズム・ラボ　井岡仁志氏

１１．在宅サービスの充実

■介護保険サービスの実施

（１）訪問介護事業

要介護状態の利用者の方が安心して在宅での生活が継続できるよう、身体介護、生活援助、通院等乗降介助の提供を行いました。

特に一人暮らし高齢者や高齢者のみ世帯の増加、障がい者の地域移行が進む中、社会福祉協議会の地域福祉権利擁護事業等との連携を図りながら、安心して在宅生活が送れるよう提供を行いました。

	令和４年度	令和３年度	令和２年度
利用者（延べ）	1,578 人	2,026 人	1,664 人
月平均	131 人	168 人	138 人
福祉有償運送（78 条許可）	116 回	122 回	80 回
月平均	9 回	10 回	6 回

（２）介護予防・日常生活支援総合事業

専門的なサービスを必要とする要支援状態の利用者の方が自立した生活が送れるよう、身体介護、生活援助の提供を一緒に行いました。

	令和４年度	令和３年度	令和２年度
利用者（延べ）	113 人	１４人	０人
月平均	９人	１人	０人

（３）介護保険外サービス事業

介護保険制度の対象サービスで対応できない方の介護サービスの提供を行いました。

	令和４年度	令和３年度	令和２年度
提供回数	12 回	７回	０回

（４）利用者負担減免の実施

介護保険サービスの利用者で低所得者世帯の方に対して、利用料金の一部負担を行うことにより利用を支援しました。

	令和４年度	令和３年度	令和２年度
利用者（延べ）	１２人	１２人	１２人
月平均	１人	１人	１人

■障がい福祉サービスの実施

（１）居宅介護事業

障害者総合支援法による、身体介護、家事援助などの訪問介護サービスを提供しました。

	令和４年度	令和３年度	令和２年度
利用者（延べ）	1,494 人	1,593 人	1,548 人
月平均	124 人	132 人	129 人
通院介助	47 回	55 回	28 回
月平均	３回	４回	２回

（２）重度訪問介護事業

常時、介護が必要な障がい児・者に対して、継続的なサービスを提供するものですが、サービスの提供はありませんでした。

（３）同行援護

視覚障がい者の方の移動時及びそれに伴う外出先において必要な移動の提供をさせていただきました。

	令和４年度	令和３年度	令和２年度
利用者（延べ）	３７人	３９人	３９人
月平均	３人	３人	３人

（４）地域支援事業

町の地域支援事業による移動サービスを提供しました。

	令和４年度	令和３年度	令和２年度
利用者（延べ）	１００人	１３８人	１２６人
月平均	８人	１１人	１１人

（５）社会参加促進事業

タクシー運賃助成券の利用により、社会参加を促進しました。

	令和４年度	令和３年度	令和２年度
助成券利用枚数	１５２枚	１２４枚	１３６枚

■車椅子の貸し出し

（１）福祉用具貸与事業

他制度、他施策で貸与や支給が受けられない方を対象に在宅生活において、車椅子が必要な方に対して無料で貸し出しを行ました。

福祉用具の在庫管理・メンテナンス等を行いました。

	令和４年度	令和３年度	令和２年度
貸出件数	・車椅子 ３６件（５０台） 内、長期貸出(１年間) ７件（９台） (返却済も含む)	・車椅子 ３３件（５７台） 内、長期貸出(１年間) ６件（７台） ・スロープのみの 貸出　１件	１８件 （３８台）

１２．介護予防への取り組み

■介護予防拠点施設の管理・運営

（１）プラザの管理

鏡、弓削、鵜川の３ふれあいプラザを竜王町からの指定管理制度により管理を行いました。

プラザ名	実施日	内　　容
清掃・点検（メンテナンス）		
３施設	随　時	日々の清掃（社協職員）
	年末に職員が分散して実施	年末大掃除
	令和５年 ２月１日	消防設備点検
	令和５年 ２月３日	カーペット洗浄
弓削	年３回	除草（シルバー人材センター）3回
鏡	年３回	除草（シルバー人材センター）3回
修繕・交換		
鵜川		
弓削	９月１３日	洋室扉の戸車交換＆網戸の修理
鏡	７月２１日 ９月１３日	水道メーター嵩上げ工事 網戸の修理
その他		
３施設	７月１３日 令和５年 ２月１３日	AED 電極パッドの交換 消防署による防火対策の査察

弓削	６月２０日 ６月２４日	蜂の巣駆除 〃
鏡	10 月 ２８～２９日	桜の枝の伐採

（２）プラザの運営

介護予防、地域交流、ボランティアの活動場所として活用されるよう運営を行いました。

コロナウイルス感染拡大により減少していた利用者も徐々に増加してきました。

〈年間総利用人数〉

	令和４年度	令和３年度	令和２年度
鵜川プラザ	197 回／2,174 人	191 回／2,087 人	164 回／1,775 人
弓削プラザ	161 回／2,031 人	123 回／1,574 人	116 回／1,295 人
鏡プラザ	172 回／2,447 人	157 回／1,908 人	134 回／1,534 人

①生涯現役事業

「いつまでも元気クラブ」（生涯現役事業）の実施

町から介護予防事業として委託を受けている生涯現役事業は、鵜川、弓削、鏡ふれあいプラザを会場に概ね６０歳以上の方を対象に多様な活動を開催しました。

令和４年度は、新型コロナウイルス感染症対策をとりながら実施し、終活として、「空き家問題」や「相続・贈与」、認知症についての基礎知識を学びました。

〈令和４年度活動別参加者数（プラザ別）〉

	鵜川プラザ	弓削プラザ	鏡プラザ	その他
余暇活動	19 回/181 人	17 回/52 人	24 回/ 110 人	
交流活動	12 回/82 人	－	1 回/5 人	4 回/22 人
運動機能向上	50 回/478 人	44 回/349 人	27 回/ 116 人	
文化活動	35 回/184 人	37 回/423 人	19 回/132 人	
自学自習	42 回/343 人	13 回/101 人	14 回/74 人	23 回/198 人
ボランティア活動	－	－	25 回/ 69 人	
合計（令和４年度）	158 回/1,268 人	111 回/925 人	110 回/506 人	27 回/220 人
令和３年度	150 回/1,200 人	84 回/724 人	115 回/564 人	13 回/102 人
令和２年度	132 回/1,031 人	70 回/604 人	93 回/496 人	ﾏｽｸる活動 81 人

〈令和４年度の実施状況〉

活動名	実施内容
余暇活動	・ミニ卓球でラリー・音楽で気分転換・健康麻雀・囲碁将棋
交流支援	・思い出めぐり（回想法）・しめ縄技法を学ぼう・介護の集い・干支の編みぐるみ・パソコンで交流・インスタライブで料理を学ぼう
運動機能向上	・DVD ヨガ体操　・いきいき健康体操　・ゆったりヨガ・ミュージック・ケア　・にこにこ体操　・笑顔で伸ばそう健康寿命　・太極拳を体験しよう　・楽しくお散歩リン
文化活動	・パッチワーク・ミシン講座・音読講座　・折り紙を楽しもう　・一閑張り　・はぎれで遊ぼう
自学自習	・大人の寺子屋「漢字と計算、そろばん、雑学、計算とクイズ」　・認知症予防講座　・相続贈与の基礎知識講座・空き家で困らないために講座・薬と健康について・脳トレレクリエーション・筆文字講座・歯と口腔の健康・初めての農園活動・整理収納講座・パソコンのすすめ・高齢者と免許ウォーキングのすすめ
ボランティア活動	・日曜大工（注文を受けての製作）・ミシン講座でポシェットを製作し、一人暮らし配食事業で配布・初めての農園活動（土づくりや除草作業）・プランターに花の苗を植えよう

②いきいき趣味活動

「いきいき趣味活動」（高齢者趣味活動）の実施

高齢者自らが寄り集い、活動を通じて交流を深め合い、地域に持ち帰って地域の仲間づくりへと発展していける講座の開催に努めました。

〈受託している３プラザでの実績〉

	教室数	延べ開催回数	延べ参加者人数
鵜川プラザ	1	１２回	１１８人
弓削プラザ	1	１３回	５７人
鏡プラザ	1	１２回	７７人
合計（令和４年度）	3	３７回	２５２人
令和３年度	3	３７回	２５７人
令和２年度	3	３７回	２９７人

③こどもひろばの開催

通常の「こどもひろば」では主なイベントを鏡ふれあいプラザで、出張ひろばを弓削ふれあいプラザで開催しました。

「学年別ひろば」を鏡ふれあいプラザで開催しました。

〈出張ひろばの開催〉

開催場所	令和４年度	令和３年度	令和２年度
	開催回数／人数	開催回数／人数	開催回数／人数
弓削ふれあいプラザ	30回／639人 保護者　297人 子ども　342人	21回／　５０７人 保護者　２２０人 子ども　２８７人	３１回／４５４人
鏡ふれあいプラザ	19回／777人 保護者　362人 子ども　415人	８回／　３６７人 保護者　１６７人 子ども　２００人	

（３）貸館事業

〈貸館事業実績　上段：利用件数　下段：延べ利用人数〉

	鵜川プラザ	弓削プラザ	鏡プラザ
竜王町（選挙含む）	２件	－	－
	１４人	－	－
町事業委託先事業所	－	－	－
	－	－	－
関係福祉団体	－	－	－
	－	－	－
自治会	４件	－	－
	１１２人	－	－
社会福祉協議会自主事業	１６件	４件	１件
	２０４人	６０人	６人
その他	５件	３件	５件
	１３０人	２０人	３２人
令和４年度合計	２７件	７件	６件
	４６０人	８０人	３８人
令和3年度（自主事業含まない）	６件／３０１人	１件／１７人	０件／　０人
令和2年度（自主事業含まない）	４件／２３２人	０件／　０人	４件／６１人

・令和４年度各ふれあいプラザで「スマホ講座」を開催